

# 学術出版物及び学会発表の目録

## 1. 学術出版物

## A. 著書

氏名	専攻	題名	単著・共著	発行所名	分担執筆の題名、概要	発行年月
星川秀利	健康・スポーツ	シヨートトラック・スピードスケート競技 競技者育成教本 世界の頂点を目指して	共著	(財)日本スケート連盟	Ⅶ章スポーツ医・科学の基礎知識, 13項バイオメカニクスの基礎知識, p 148-151	1999年 3月
碓井外幸	健康・スポーツ	行動変容によるライフスタイルの改善ー健康やかな人生のためのアドバイスと支援と戦略ー (リーフタイプ)	共著	(財)北陸体力科学研究所	行動変容によるライフスタイルの改善法を保健、運動、食事、休養、カウセリング、ライフスタイル調査、禁煙、個別健康教育事例紹介の観点から、具体的に説明。p.1-8	2002年 3月
		高齢者の体力づくり指導指針		石川県健康福祉部	「石川健康づくり21」の高齢者用アクションプランに関する指導者用マニュアル 碓井外幸、他、全ページ	2003年 8月
倉田澄子	健康・栄養	栄養教育論	共著	光生館	次の各章を担当 第3章「栄養教育のためのアセスメント」(41～58頁) 第4章「栄養教育計画」(59～70頁) 第5章「栄養教育の方法」(97～110頁) 第8章「栄養教育の評価」(111～118頁)の全章を担当した。	2003年 11月

## B. 学術論文

氏名	専攻	題名	掲載誌名	概要・著者	発表年月
西宗高弘	健康・栄養	Development in the knowledge of thiaminase and related health hazards	Recent Res Devel Nutrition 5, 151-67,	昆虫類でチアミナーゼが見出された。野蚕を食するナイジェリア人の急性・季節性の運動障害・意識障害はチアミナーゼによるものと推定されている。 Takahiro Nishimune	2002年

氏名	専攻	題名	掲載誌名	概要・著者	発表年月
倉上洋行	健康・栄養	小中学生の成育環境と心身の健康	お茶の水医学雑誌 51(1), 13-24	全人的見地から、養育環境や食環境と精神状態、および身体状態の相互連関について検討した。 倉上洋行	2003年 3月
		保護者の栄養バランスに対する関心と小中学生の食品摂取傾向	Health Sciences 19 (2), 112-121	『栄養バランス』という漠然とした概念について養育者のパラダイムを大局的に捉えた。 Hiroyuki kurakami, Hidetoshi Wakamatsu	2003年 4月
星川秀利	健康・スポーツ	サドル高の低下がペダリング運動中の膝関節に及ぼす影響	日本機械学会論文集 C 編 69巻 680号、p 244-249	一定仕事率でのペダリング運動中のサドル高の低下が膝関節に及ぼすバイオメカニクス的影響を検討した。 星川秀利、藤本浩志	2003年 4月
		ペダリング動作時の足関節固定が下肢の運動機能に及ぼす影響	人間工学 39巻4号、p 169-179	一定及び最大仕事率のペダリング運動時における足関節の影響をバイオメカニクスの観点から検討した。 赤羽秀徳、青木和夫、星川秀利	2003年 8月
碓井外幸	健康・スポーツ	豊かな自然と人的交流、相互支援による総合的健康づくりー行動変容による生活習慣の改善をめざしてー	体力科学 Vol.52, No.5 p 480-481	「健康日本21」推進における各県の取り組みを紹介しながら、その特徴を行動変容による総合的な健康増進活動に生かせるように概説したものの。 碓井外幸、勝木道夫	2003年 10月
菊地せつ子	基礎教育	レイモンド・カーヴァー『愛について語る時に、我々が語ること』に関する一考察	英米文学評論 Winter 2003 102-111	不穏な日常生活の中に潜む脅威と作中人物同士のコミュニケーションの断絶について考察。 菊池せつ子	2003年 12月
倉上洋行	健康・栄養	小中学生の食品摂取と主観的「いらいら感」の変化との関連研究	Health Sciences 20 (1), 41-51	小中学生における、主観的「いらいら感」の変化と食品摂取との関連から、精神と食生活について検討した。 Hiroyuki Kurakami, Hidetoshi Wakamatsu	2004年 1月

氏名	専攻	題名	掲載誌名	概要・著者	発表年月
倉田澄子	健康・栄養	栄養士養成校の学生の献立作成について－ (第6報)	武蔵丘短期大学紀要第11巻 p 51-56	学業が立案した献立について是非を検討した。 小河原佳子、倉田澄子	2004年 3月
		第26回日本スリデーマーチ(ウォーキング) 参加者のヘモグロビン量とBMI	武蔵丘短期大学紀要第11巻 p 57-61	東松山市主催ウォーキング(スリデーマーチ)の参加者たちを対象に健康教室を開設した。参加者の身体状況をまとめた。 倉田澄子、小河原佳子	2004年 3月
小河原佳子	健康・栄養	栄養士養成校の学生の献立作成について(第6報)－学生の献立の数値と食材及び料理の目 測量に対する検討－	武蔵丘短期大学紀要第11巻 p 51-56	栄養士養成校に通う学生の献立数値と食材及び料理の目測量について検討した。 小河原佳子、倉田澄子	2004年 3月
		第26回日本スリデーマーチ(ウォーキング) 参加者のヘモグロビン量とBMI	武蔵丘短期大学紀要第11巻 p 57-61	東松山市主催ウォーキング(スリデーマーチ)の参加者たちを対象に健康教室を開設した。参加者の身体状況をまとめた。 倉田澄子、小河原佳子	2004年 3月
中村達也	健康・体育	やり投てき時における助走運動量のやりへの 変換率について	武蔵丘短期大学紀要第11巻 p 67-71	助走運動量からやり運動量への変換率を算出した。(やり投) 中村達也	2004年 3月
		第26回日本スリデーマーチにおける骨密度 測定の実施報告	武蔵丘短期大学紀要第11巻 p 63-66	スリデーマーチにおける、ウォーカーに 対してのサポート活動記録である。 前田和子、中村達也、大崎雅也	2004年 3月

# C. その他

氏名	専攻	書名又は題名	単著・共著	発行所または掲載紙名	概要	発表年月
碓井外幸	健康・スポーツ	「生活の中で活動量、運動量を高めるには」 「行動密度を点数化して評価する」	単著	Occupational Health of Isikawa p.11	行動変容によりライフスタスを改善し、生活習慣病を予防するための具体的な判断としての運動のあり方と、その評価法を概説	2003年 4月
		「温泉へ行こう」	単著	NOSAI かがちく p.4～5	生理学的な観点からの温泉地の効用を解説し、より安全で効果的な入浴法を伝授	2003年 11月
		「高齢者の運動処方 松任市医師会だより」	単著	松任市医師会（石川県） p.8	身体的ストレスに対して予備力のない高齢者に対して生活習慣病を予防・治療するための行動医科学的な運動処方の方を概説。	2004年 1月
		「生活の中で活動量・運動量を高める方法」 富山県医師会産業保健特定科日専門研修会テキスト	単著	富山県医師会 p.11-16	生活の中で活動量・運動量を高めるための行動科学的手法を具体的な例をあげて概説。	2004年 1月

## D. 学会発表

氏名	専攻	論題	発表学会名	概要・共同研究者	発表年月
碓井外幸	健康・スポーツ	生活習慣病予防・改善を目的とした健康づくり事業参加者のその後	第14回日本体力医学北陸地方大会、体力科学、Vol.51.No.4. p.399	健康づくり事業で培った手法を長期に亘って持続するには、多忙感を払拭し、自然な型で習慣化することの大切さを検討し、概説。 南祐治、碓井外幸、勝木建一、勝木道夫	2002年 4月
		高血圧症者の3ヶ月間の運動指導を中心とした健康づくり事業の持続的效果	第14回日本体力医学北陸地方大会、体力科学、Vol.51.No.4.p.399	高血圧症者の運動療法の効用を長期に亘って持続させるには、生き甲斐や趣味と連合した運動のあり方が大切であることを検討し概説。 山口宏美、碓井外幸、南祐治、勝木建一、勝木道夫	2002年 4月
		転倒予防を目的とした簡易テストに関する研究	第14回日本体力医学北陸地方大会、体力科学、Vol.51.No.4. p.400	地域社会において簡便に行える介護予防としての転倒予防を目的としたテストの有り方を検討、概説。 釜場栄直、碓井外幸、勝木建一、勝木道夫	2002年 4月
		喫煙継続者と禁煙継続者の尿中ニコチン濃度の比較	第14回日本体力医学北陸地方大会、大会号 p.25	禁煙の動機付けの1つとして、生体内半減期が長く、尿中に高濃度に検出されるニコチン代謝産物としてのニコチンの有用性について検討、概説。 有村尚也、碓井外幸、葛巻美紀、勝木建一、勝木道夫	2002年 4月
		Effects of individual health education on behavioral changes and health-and-fitness parameters	第10回日本運動生理学会大会 Advances in Exercise and Sports Physiology. Vol.8. No.4. p.164	行動変容による健康・体力づくりのための手法や、個別健康教育モデル事業で開発し、その効果を検討、概説。 E.Usui, E.Kamaba	2002年 7月
		個別健康教育による行動変容が、生活習慣病予防に及ぼす影響	第57回日本体力医学大会、体力科学 Vol.51. No.6. p.712	健康増進/体力向上のために、従来から行われて来ている体力科学・運動生理学、栄養学的手法に行動科学的な手法を組み込むことにより行動変容が効率よく行われ医学的データの改善されることを検討、概説。 碓井外幸、葛巻美紀、南祐治、勝木建一、勝木道夫	2002年 9月

氏名	専攻	論 題	発表学会名	概要・共同研究者	発表年月
碓井外幸	健康・スポーツ	生活習慣病の予防・改善を目的とした健康づくり事業の長期的効果	第57回日本体力医学学会大会、体力科学、Vol.51.No.6. p.747	健康づくり事業の効果を長期に亘って維持するには、終了後3ヶ月以内に電話や電子メール等により、生活習慣改善のための支援をする必要があることを検討、概説。 南祐治、碓井外幸、勝木建一、勝木道夫	2002年 9月
藏原三雪	基礎教育	「健康日本21」推進における各県の取り組み－豊かな自然と人的交流、相互支援による総合的健康づくり－	第26回日本医学学会総会大会号 学術講演集 p.280-281	「健康日本21」を推進するため地方版である「石川健康づくり21」とそのアクションプランについて概説。 碓井外幸、勝木道夫	2003年 4月
永島伸浩	健康・栄養	洋学学習と漢学教養	洋学学会例会	日本人が欧米から新しい学問を摂取する際に、すでにもっていた漢学教養が大きな意味をもっていたことを事例研究によって明らかにした。 藏原三雪	2003年 4月
永島伸浩	健康・栄養	国内産小麦・もち米粉混合生地の調理性	日本調理科学学会平成15年度大会要旨 pp.17	埼玉県吉見町で生産されている小麦粉およびもち粉の調理性について調べた。 宮木恵美、小坂由美子、永島伸浩	2003年 9月
永島伸浩	健康・栄養	国内産小麦・もち米粉混合生地の調理性及び食味特性について	日本調理科学学会平成15年度大会要旨 pp.17	吉見町産地粉ともち粉を使い、うどんを調製し、その調理性と食味特性を検討した。 小坂由美子、宮木恵美、永島伸浩	2003年 9月
若荷尚史	健康・栄養	キヌア添加によるスポンジケーキの食味特性について	日本調理科学学会平成15年度大会要旨 pp.19	中南米原産キヌア種実を製粉し、その調理性について検討した。 大迫早苗、永島伸浩	2003年 9月
若荷尚史	健康・栄養	コーヒー抽出液中に存在するメラニン合成阻害物質に関する研究	社団法人全日本コーヒー協会助成研究発表会	コーヒーの美白効果について 若荷尚史	2003年 6月
玉木雅子	健康・栄養	ネギ属含硫化合物がモデル系アミノ酸カルボニル反応に及ぼす影響	日本食品科学工学会第50回大会講演集 p.57	ニンニクフレンチはアミノ酸カルボニル反応に影響を及ぼしメラニン総量を減少させたが高分子化を抑制した。 玉木雅子、若荷尚史、村田容常、本間清一	2003年 9月

氏名	専攻	論題	発表学会名	概要・共同研究者	発表年月
玉木雅子	健康・栄養	コーヒー由来新規生理活性の検索	日本食品科学工学会第50回大会講演集 p.81	コーヒーの熱水およびメタノール抽出物から強いメラニン合成阻害作用を認めた。 茗荷尚史、玉木雅子	2003年 9月
小河原佳子	健康・栄養	栄養士養成校の学生における献立作成の現状(5)	日本栄養改善学会講演集 Vol.61. No.5 p.302	栄養士養成校に通う学生において、献立作成の出現頻度の高い料理を予測させ、その目分量について検討した。 小河原佳子、倉田澄子	2003年 9月
星川秀利	健康・スポーツ	ペダルでの足の位置がペダリング運動時の下肢関節モーメントに及ぼす影響	58回日本体力医学会大会 体力科学 52巻6号、p.798	一定負荷ペダリング運動で回転数を変化させた際、足の位置が膝・股関節モーメントに及ぼす影響を検討した。 星川秀利、玉木啓一、中村好男、村岡功	2003年 9月
		ペダリング動作時の足関節運動パターンの違いが自覚的運動強度・生理反応に及ぼす影響	第58回日本体力医学会大会 体力科学 52巻6号、p.807	足関節運動パターンの違いによるペダリング動作時の自覚的運動強度(RPE)、生理応答の変化を検討した。 赤羽秀徳、青木和夫、星川秀利	2003年 9月
藏原三雪	基礎教育	洋学学習と漢学教養	洋学史学会例会	日本人が欧米から新しい学問を摂取する際に、既に持っていた漢学教養が大きな意味を持っていたことを事例研究によって明らかにした。 藏原三雪	2003年 4月
		教育実習におけるセクシュアル・ハラースメント防止対策	教師教育学会	内海崎貴子、岡朋秀忠、藏原三雪、清水康幸、田中裕	2003年 10月
碓井外幸	健康・スポーツ	健康増進施設における運動療法の継続性に関する研究	第15回日本体力医学会北陸地方大会 体力科学 Vol.52, No.5 p.661	運動療法を継続するための行動科学的手法を、運動の開始動機、継続理由、バリア、中止理由等から検討し、よりペダターな手法を開発し、概説している。 釜場栄直、碓井外幸、中原梨恵、松林明枝、勝木建一、勝木道夫	2003年 10月



氏名	専攻	論題	発表学会名	概要・共同研究者	発表年月
碓井外幸	健康・スポーツ	女性の行動変容を促す動機付けとしての生活習慣と肌状態の関係	第15回日本体力医学会北陸地方大会、体力科学、Vol.52, No.5, p.666	生活習慣と肌状態の関係から、女性の行動変容を促すための手法について検討し概説している。 山口宏美、碓井外幸、川上京子、南祐治、勝木建一、勝木道夫	2003年 10月
倉田澄子	栄養	栄養士養成校の学生における献立作成の現状(5)	日本栄養改善学会講演集 Vol.61, No.5, p.302	学生が作成した献立案について、料理の組み合わせを考察した。 小河原佳子、倉田澄子	2003年 9月
碓井外幸	健康・スポーツ	生活習慣と肌状態の関係が女性の行動変容に及ぼす影響	第58回日本体力医学会大会(静岡)、体力科学 Vol.52, No.6. p.789	女性の行動変容を促す重要なファクターとして、生活習慣の改善と美しい肌状態との関係を強調することが重要であることを概説。 山口宏美、碓井外幸、勝木建一、勝木道夫	2003年 12月